

高知都市圏パーソントリップ調査データから見た いの町の交通特性

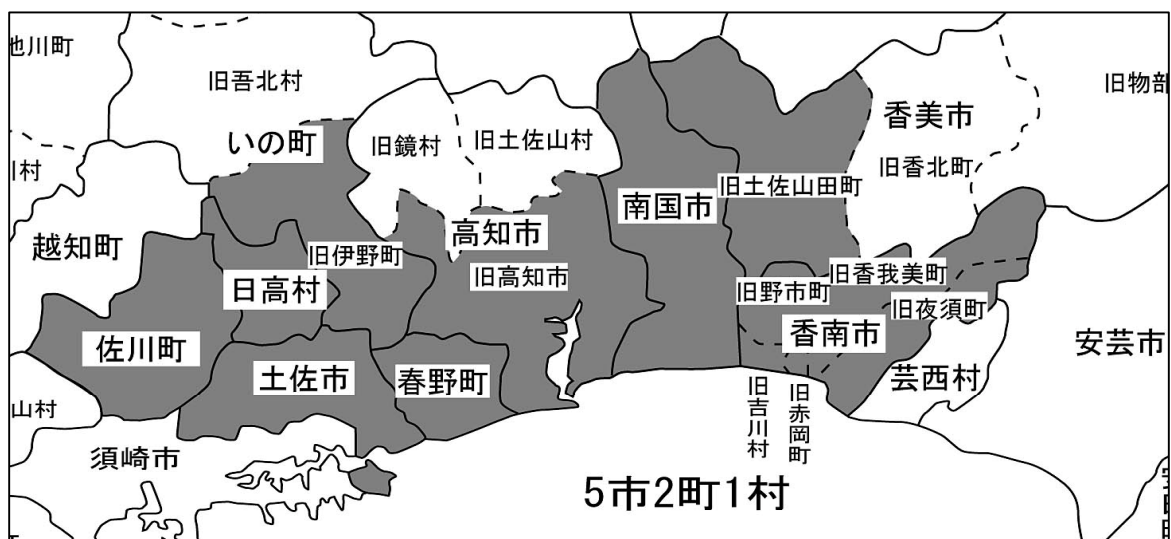
ここでは、高知都市圏パーソントリップ調査データ（H19 実態調査）に基づき、いの町の交通実態の把握を行った。

- 1) ただし、高知都市圏に含まれる伊野地区を対象とした整理となっている。
- 2) 実態調査は、平成 19 年 11 月と 2 月（回収数を増やすため追加調査）の人の動きを調査。

高知都市圏パーソントリップ調査の概要

- ・パーソントリップとは、人（パーソン）の動き（トリップ）。
- ・パーソントリップ調査では、高知都市圏の居住者が、「どのような人が」、「いつ」、「何の目的で」、「どこから」、「どこへ」、「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを捉える。
- ・高知都市圏パーソントリップ調査は、これまで昭和 55 年に第 1 回調査、平成 9 年に第 2 回調査を実施し、平成 19 年に第 3 回調査を実施。
- ・調査圏域は下図に示す 5 市 2 町 1 村で、いの町については伊野地区が対象となっている。

高知都市圏パーソントリップ調査圏域



1 . いの町関連流動の特性（図1）

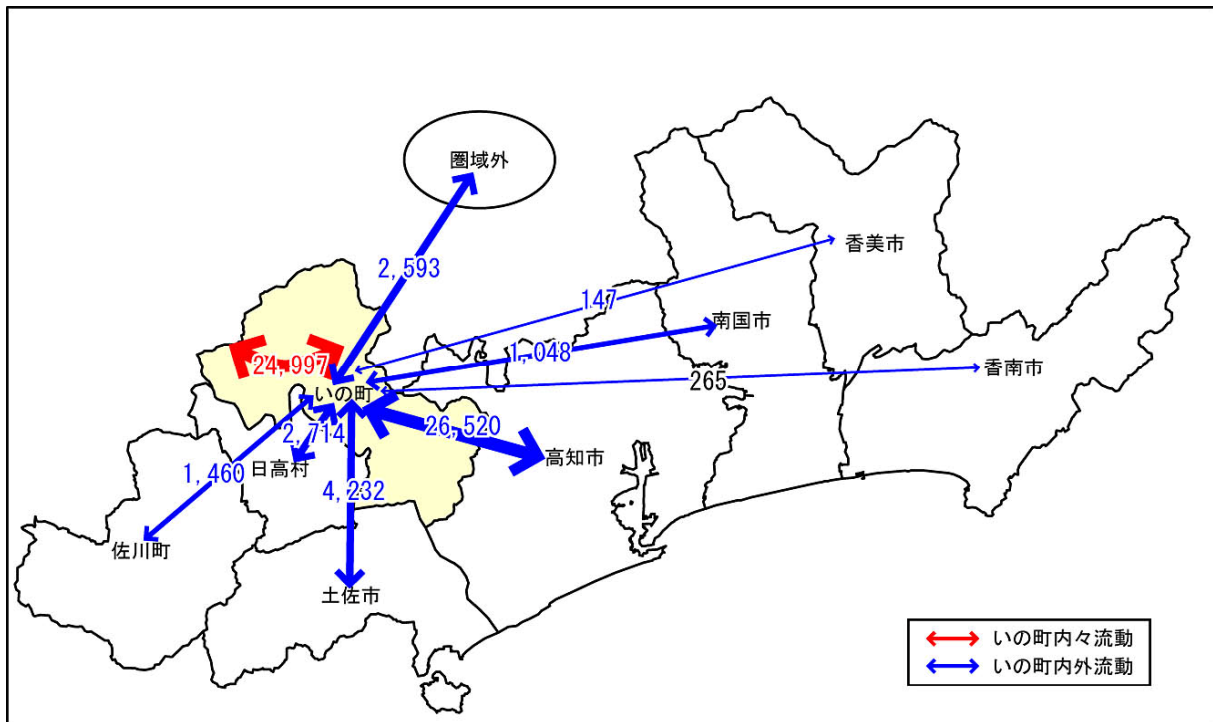
- ・いの町関連流動（平日/全目的/全手段）を見ると、高知市との流動（2.7万トリップ/日）が最も多く、内々流動（2.5万トリップ/日）を超えている。次いで、土佐市との流動（0.4万トリップ/日）が多い。
- ・相手先別に目的構成を見ると、高知市との流動では通勤目的、いの町内々の流動では私用目的の流動が多い。
- ・交通手段構成を見ると、高知市との流動の76%が自動車による流動となっている。一方、いの町内々流動では41%が徒歩・二輪車の利用となっている。

2 . いの町関連の目的別流動（図2）

- ・通勤先としては、高知市（3.8千トリップ/日）が最も多く、いの町内への通勤流動（2.5千トリップ/日）を上回っている。一方で、高知市からの通勤目的の流入も高知市への流出の半分程度見られる。
- ・業務目的では、高知市との流動（1.9千トリップ/日）が多い。
- ・私用目的では、いの町内々の流動（9.0千トリップ/日）が多い。

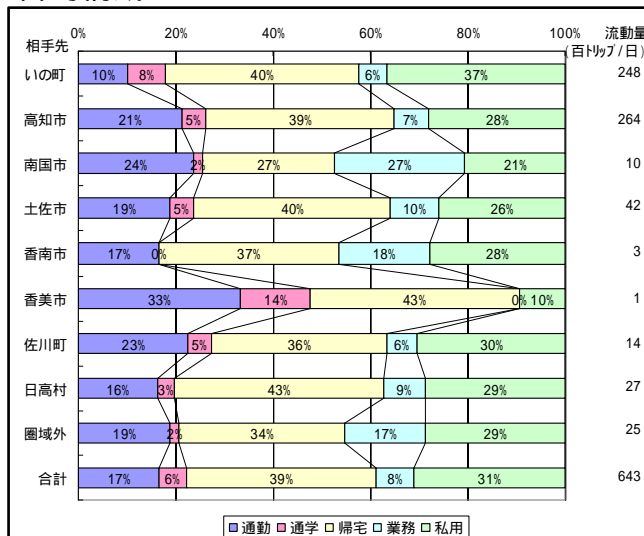
3 . いの町関連の手段別流動（図3）

- ・鉄道利用の流動は高知市との流動（0.5千トリップ/日）の流動が多い。それ以外では、佐川町、土佐市との流動も見られる。
- ・路線バス利用の流動も、高知市との流動（0.4千トリップ/日）の流動が多い。いの町内々の流動（0.1千トリップ/日）も見られる。
- ・自動車による流動は、高知市との流動（2.0万トリップ/日）、いの町内々流動（1.4万トリップ/日）、次いで土佐市との流動（0.4万トリップ/日）が多い。



単位：トリップ / 日

目的構成



手段構成

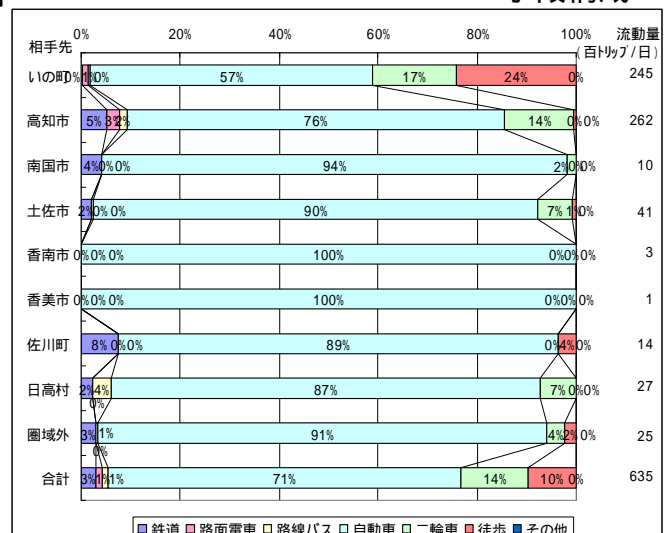
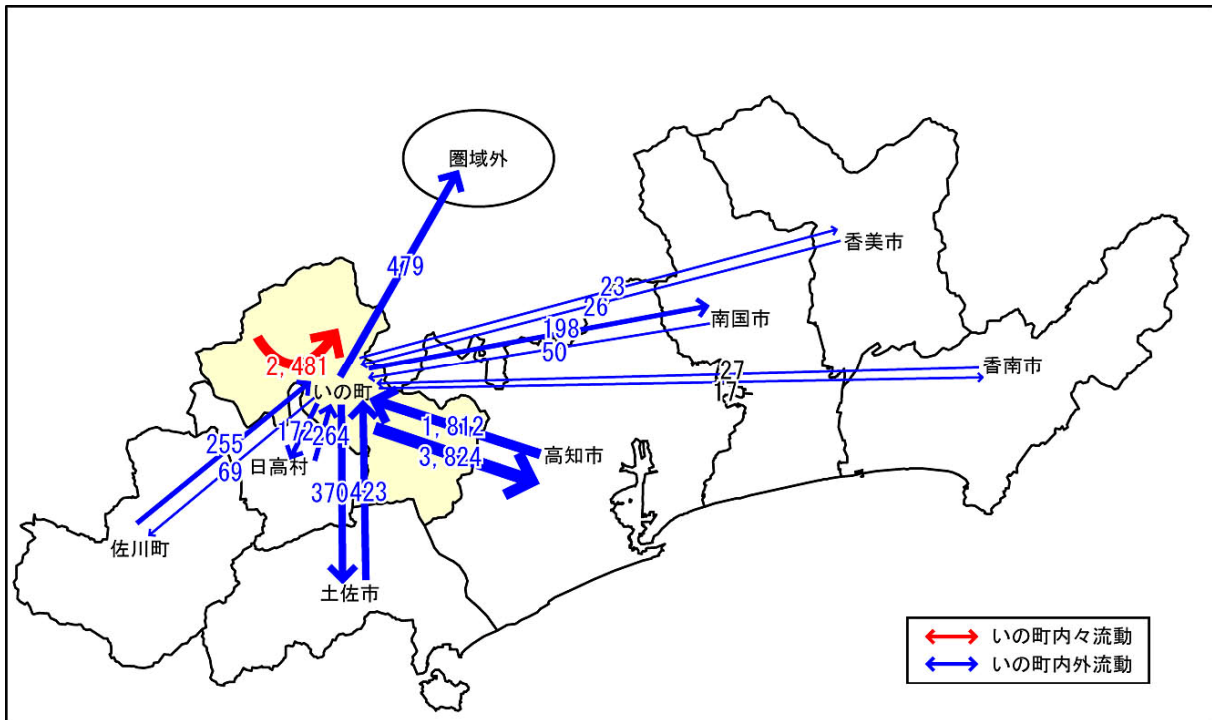
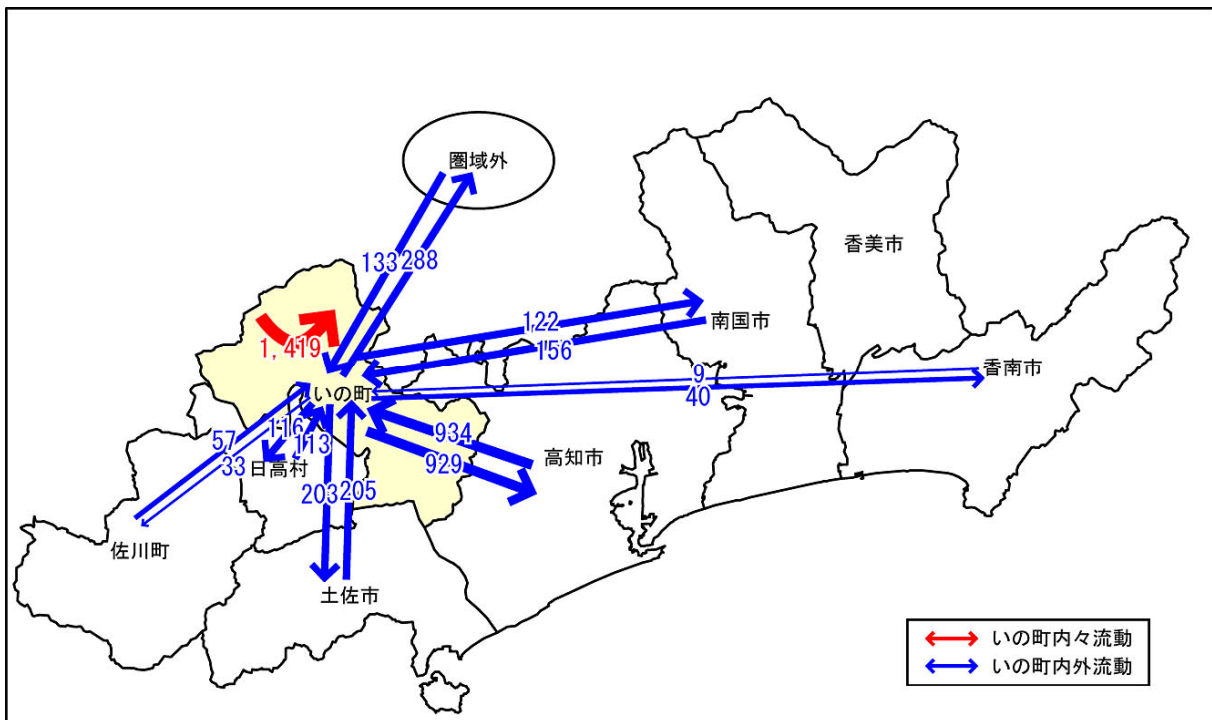


図1 いの町関連流動の特性

【 通勤 】



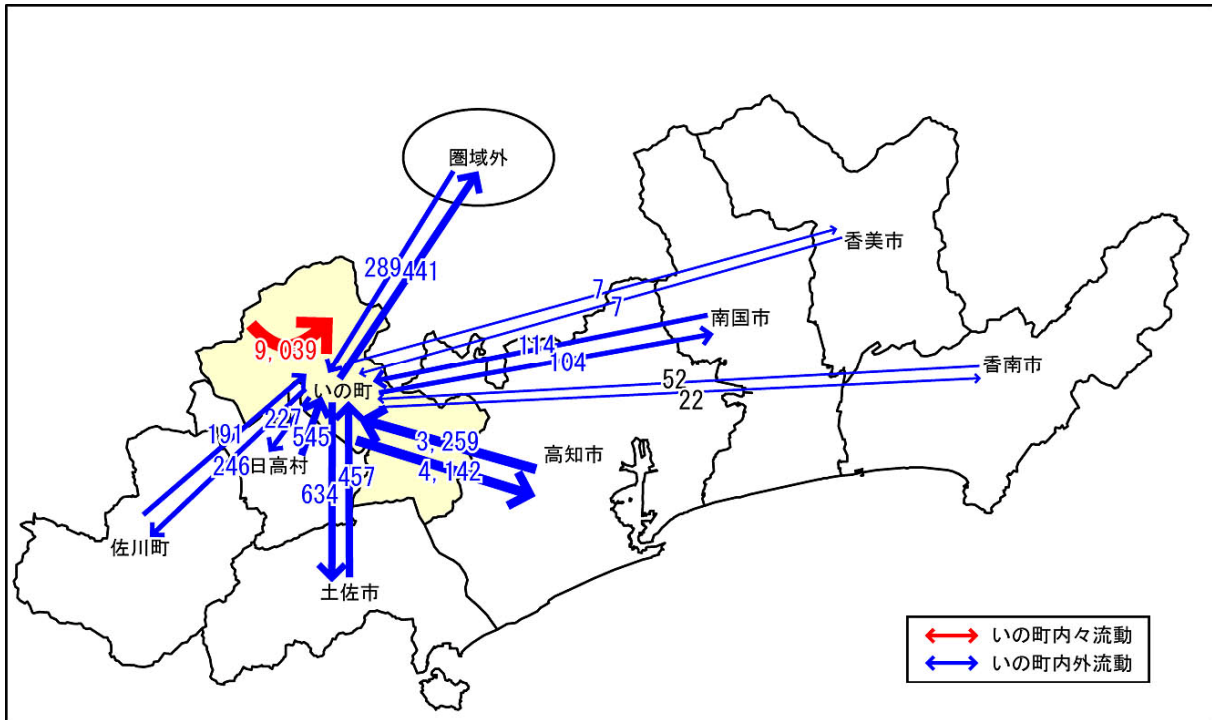
【 業務 】



単位：トリップ / 日

図2 いの町関連の目的別流動量（平日：その1）

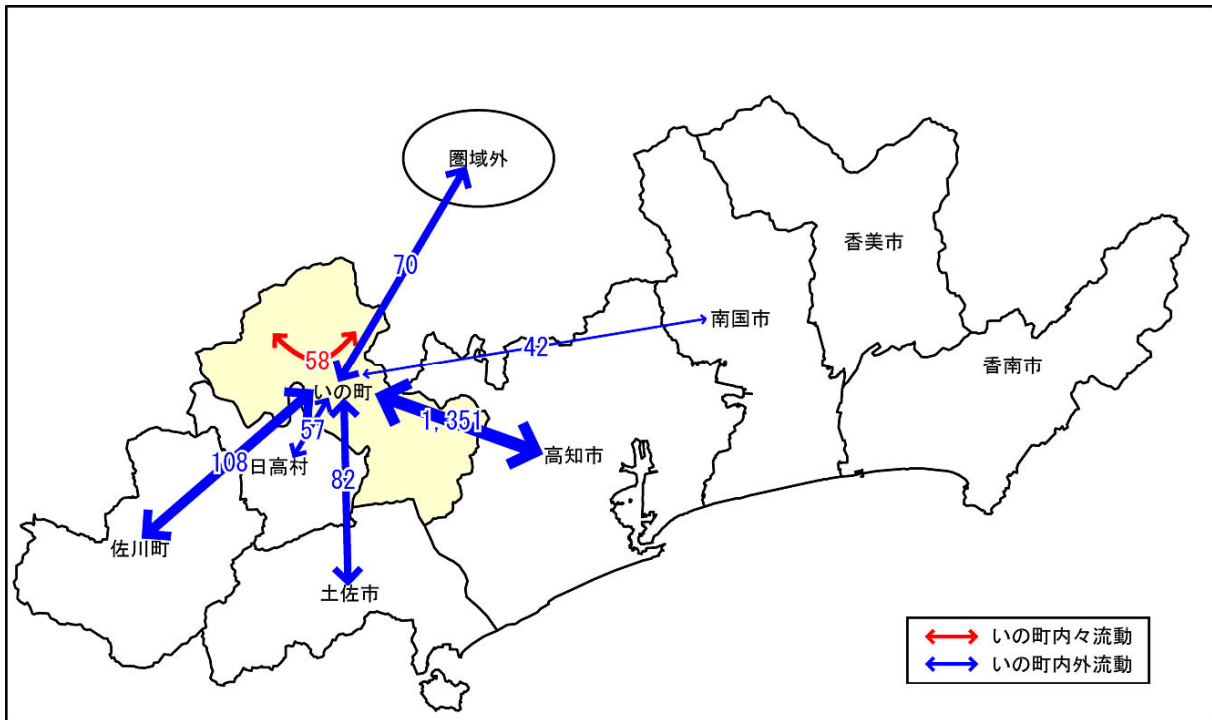
【 私用 】



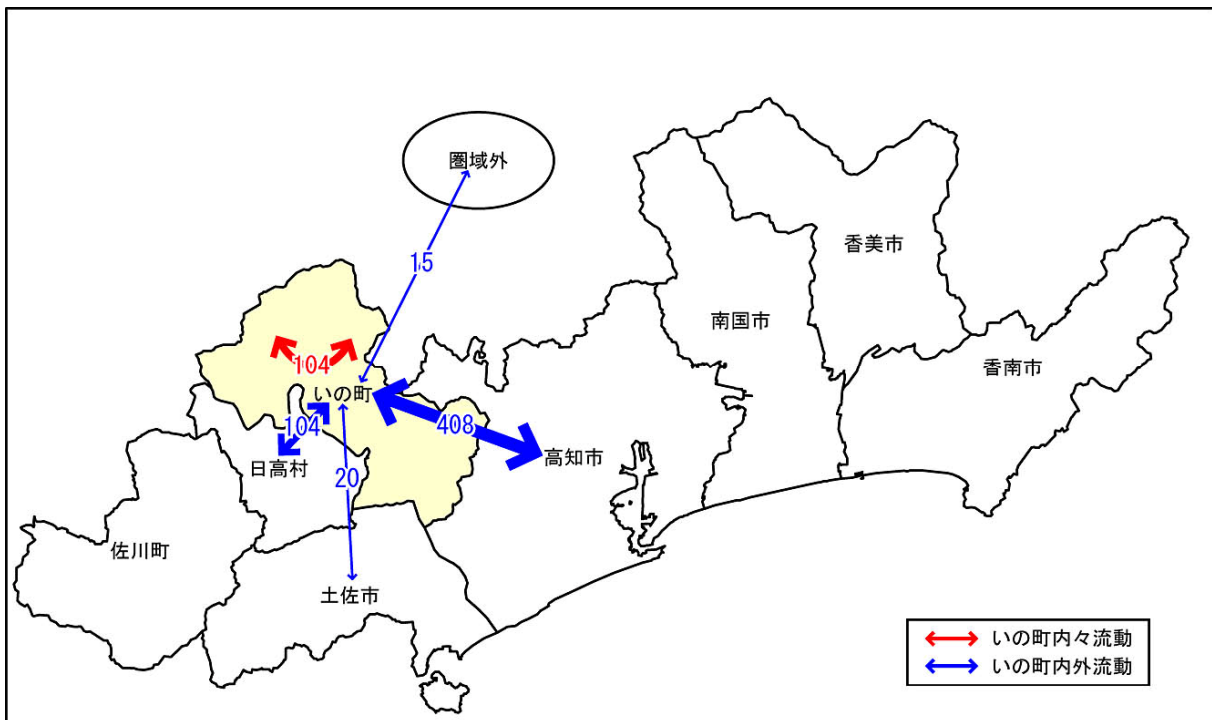
単位：トリップ / 日

図2 いの町関連の目的別流動量（平日：その2）

【 鉄道 】



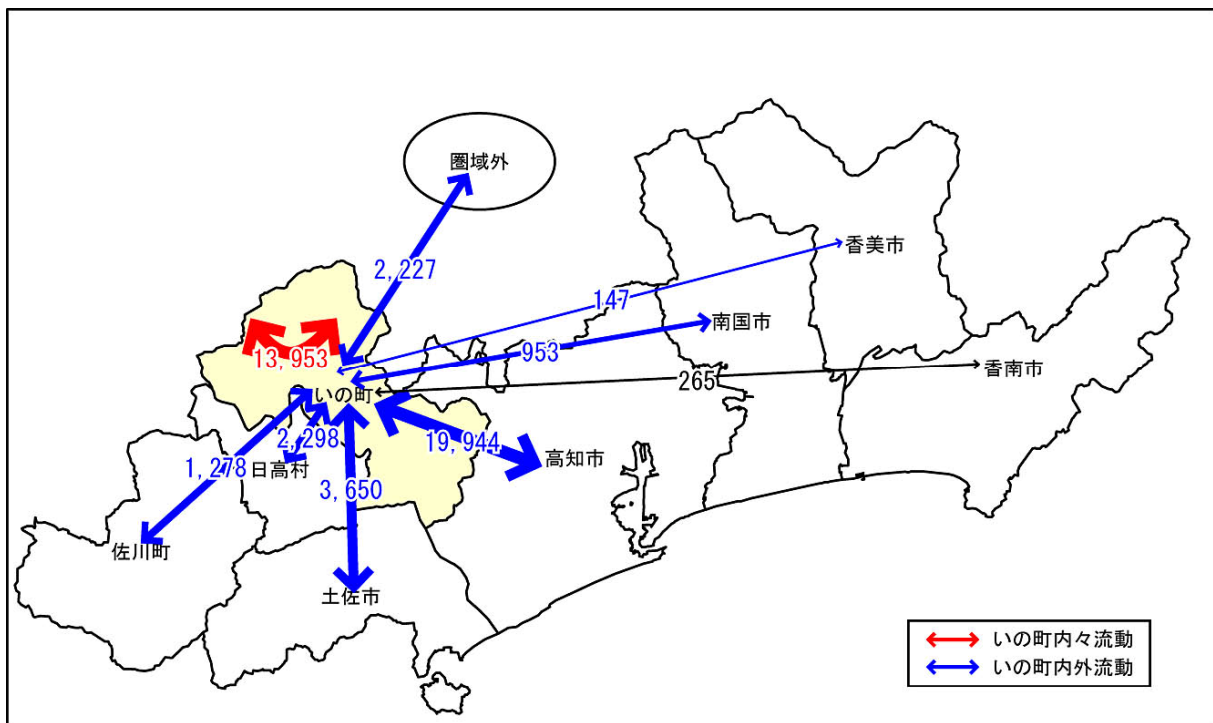
【 路線バス 】



単位：トリップ / 日

図3 いの町関連の手段別流動量（平日：その1）

【 自動車 】



単位：トリップ / 日

図3 いの町関連の手段別流動量（平日：その2）

